

PaI

～仲間



2017
Fall Edition
Vol.95

第12回 にほんごで話そう! 日本語スピーチ大会

2017年 7月9日(日)
大和市勤労福祉会館



国際化協会理事長賞を受賞したのは、インドネシアから技能実習生として来日しているラデン パンジ アグン ラクソノさん!スピーチのタイトルは「私の夢」でした。今回は、当日発表された3人の高校生のスピーチを紙面でご紹介しています。

Contents

にほんごで話そう!～日本語スピーチ大会	2～3
行ってみたいあの店この店 特大号【やまと世界料理の屋台村】	4～5
地域の団体から	6
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ	7～8

第12回 にほんごで話そう！～日本語スピーチ大会

大和市教育局
教育長特別賞

「私の冒険」

神奈川県立座間
総合高等学校1年

オリベロス デイナ

ルーツ
フィリピン



私は、14歳までフィリピンのマニラで暮らしていました。穏やかな海に浮かぶボートのように、私の祖国、フィリピンでの生活はとても快適でした。家族、友達、大好きな人たちに囲まれ、私は幸せに暮らしていました。学校の成績はいつもトップクラスだったし、バドミントンの大会や英語のコンテストでは、代表選手として活躍しました。すべての時間を楽しみながら、毎日を過ごしていました。まるで、世界の全てが私

のためにあるように見えました。

しかし、海は、いつも穏やかだとはかぎりません。あるとき、私が乗ったボートに、予想もしない出来事が起こりました。突然海が荒れ、ボートは激しく波に揺られました。

2014年、両親が仕事のために、日本へ引っ越すことになったのです。

日本での生活が安定するまで、私と弟は、フィリピンの祖父母に預けられました。私の生活は大きく変わりました。いつもそばにいてくれた両親は、もういません。病気になっても、私は自分で自分の世話をしなければなりません。経済的なサポートが届かないために、学校行事に参加できないこともありました。次々と起こる問題を、自分で解決しなければなりません。私は、何があっても自分の力で困難に立ち向かい、乗り越えなければなりません。

そして1年後、母が私たちを迎えに来ました。私の気持ちは複雑でした。日本で両親と一緒に暮らせる喜びと、大好きな人々や生活と離れる寂しさ。その時から知らない世界への冒険が始まりました。

初めての外国、初めての言葉、初めて見た本物の雪…。私はたくさんの「はじめて」を経験しました。

初めて日本の中学校の教室に足を踏み入れた時、私は緊張しすぎて、クラスメートの顔が見えませんでした。日本語がわからないので、話しかけることもできません。

「フィリピンではたくさん友だちがいたのに、日本では友だちも作れない。私はもう何もできなくなってしまった。」と、思いました。自分が違う人になったみたいでした。マストが折れたボートのように、私は外国の海を漂っていました。

あれから2年がたちました。

私を理解し、辛抱強く勉強を見てくださった先生方、フレンドリーで優しい友達に助けられ、私は少しずつ元気になりました。もっとみんなとコミュニケーションができるようになりたいと思い、日本語を一生懸命勉強しました。やらなければならないことは、すべてやりました。一日、一日、一瞬、一瞬、たとえ困難なことでも、私はすべての経験を楽しみ、そこから何かを学ぼうと努力しました。

そして今年、目標の高校に合格することができました。でも、まだ日本語に自信がありません。もっと自分に自信をつけたい。そのために、このスピーチ大会に出ることにしました。

日本での経験は私に、たくさんのことを教えてくれました。失望しても、自分を信じて前を向いて歩くこと。今、できることをしっかりやること。そして、外には、素晴らしい世界があること。

人生は冒険です。最後にどこにたどり着くのか、だれもわかりません。もし、海の上で風向きが変わっても、決して自然の力に逆らってはいけません。そのかわり、帆を高く揚げ、風が向かう方向をしっかりと見るのです。私は将来、英語の教師になりたいと思っています。その夢にたどり着くまで、これからも、たくさんの冒険を楽しみたいと思います。

推薦者のコメント

神奈川県立座間総合高等学校
池田しずか 先生

穏やかで心優しく、とても真面目な性格です。何事にも前向きに取り組み、日本語に対しても積極的に学ぼうという姿勢があります。また、1つの出来事から多くのことを感じ、考え、学習し、吸収していく力もあります。このスピーチ大会を通して、多くのことを吸収し、日本語に対する自信をつけ、将来の活躍が期待できると確信し、ここに推薦いたします。

大和市長特別賞

「日本での挑戦」

柏木学園高等学校1年

山本ナオミ

ルーツ
ベトナム



「コートウヴァイ、コートウヴァイ。」父は叫びました。それは、19日間の漂流の末の救出でした。ベトナム語の「コートウヴァイ」とは日本語で「助け」を意味します。

1985年、父は30歳の時に小舟に乗りベトナムを離れました。4日目には嵐にのまれ、全ての食糧も水も流され、荒海を漂流することになりました。死ぬことも覚悟したそうです。

2年前、私は父からボートピープルだった話を初めて聞かされました。涙が止まりませんでした。その時の事だけでなく、父が困難を乗り越え私たちのために頑張ってきたことが、私に涙を流させたのです。これをきっかけに、私の物の見方は変わりました。周りを意識し、自分がこれからどうしていけばよいか、考えるようになったのです。今までと同じ父なのに、父は突然、私に新たな

希望や力を与えてくれる存在になりました。

小学生の時、うまく話せなかった日本語のことでいじめに遭い、私は小さな心を閉ざしたこともありました。そのとき父は、「ナオミ、お前ひとりが困っているんじゃないよ。世の中には、他にも助けが必要な人が大勢いるんだよ。」と励ましてくれました。父の言葉の意味が、以前は分からないときもありましたが、成長するにつれて、だんだん分かるようになり、心の中の壁が少しずつ取り除かれていきました。このことは、父が日本で苦労を重ねた事と同じだったかも知れません。いや、私以上に父が大変だったことが、最近の私にはよく分かります。

私は先月、日本の国籍を取得しました。平和な日本が好きです。日本人として日本の高校で学べることの喜びを感じています。高校では短歌書道部に入りました。中学では箏曲を習っていましたが、高校では書道、詩吟、舞などに挑戦しています。これらの日本の文化と似たようなものがベトナムにもあるのですが、ベトナムでそれらに関わったことはありませんでした。今、部活動で十数

名の部員と過ごす時間は、とても輝いています。私はもっともっと、日本を知りたいと思っています。

将来、私はベトナム語と日本語と英語を話せる通訳として、人の役に立ちたいと切に願っています。父が奇跡的に日本の人に助けられたように、今度は私が他の人を助けたいのです。父の命が救われたお陰で、私は今、ここに存在しています。素晴らしいことです。かつて、言語の通じないことがネックで苦労していた私が、父をはじめとする多くの人たちに救われたことを忘れず、言語で困っている人の光りになりたい、それが私の夢です。父が叫んだ「コートウヴァイ」。いつでもそのことに気付ける存在でありたいと思っています。

FMやまと賞

【母の祖国 ペルーを訪れて】

神奈川県立座間
総合高等学校3年しえいくぶじ わらあいしゃ
星玖藤原愛紗

ルーツ

ペルー/パキスタン



今、世界で5秒に一人、幼い子どもの命が亡くなっています。その大きな原因は、栄養不良です。日本では助かるはずの多くの命が、失われているのです。私は将来、恵まれない子供たちを守る仕事に関わりたと思っています。私がこのような問題に関心を持つようになったきっかけについて、これからお話ししようと思います。

私の母はペルーで生まれ、育ちました。母は私が子どもの頃から、よくペルーの話をお聞かせしてくれました。私が母から聞くペルーは、人々が明るくて、楽しい国でした。お祭りには、親戚や家族が大勢集まります。ペルー料理を囲んで、歌ったり踊ったり、にぎやかに過ごすそうです。ペルーは海に面していますから、セビツェなど海の幸を使ったおいしい料理がたくさんあります。私もいつかそんな母の祖国に行ってみたくて、思っていました。

2014年の夏、やっと念願叶い、母と私は、ペルーへ旅立ちました。母にとっては18年ぶりの祖国です。日本から丸一日飛行機に乗って、やっと空港に着いたとき、正直私は「日本とあまり変わらないなあ」と思いました。ところが一步空港から出ると、様子が違いました。母の故郷はバランカという町で、リマの空港からさらにバスで6時間かかります。私たちがバスに乗ると、途中から子供が乗ってきて、乗客にガムを売り始めました。まだ小学校低学年くらいの男の子です。そして私にも「ガムを買って。二日間何も食べていないんだ」と言ってきました。私は彼にお金を渡し、ガムを買いましたが、とてもやるせない気持ちになりました。

ようやくバランカに着くと、母は、町の様子が変わったことに驚いていました。新しい建物や、映画館が建てられ、道路もきれいになっていると言っていました。確かに、一見すると、きれいな街並みにも見えますが、よく見ると店の入り口や、家の窓にはすべて鉄格子がつけられています。親戚の人からは、近くのスーパーで人が殺されたとか、町を歩いていて携帯電話を取られたといった事件がよくあると聞きました。私たちも、町を歩くときは、じゅうぶん気をつけるように注意されました。

実際に町の中には、ホームレスや物売りの子どもたちがたくさんいました。路上で寝ている子もいました。学校へ行かなくていいのかな…、家はあるのかな…、親は何をしているんだろう…日本の子どもたちとのあまりの違いに、ショックを受けました。私は母から聞いていたペルーのイメージとは、ずいぶん違う印象を受

推薦者のコメント

柏木学園高等学校
濱谷 美代子先生

来日して7年目。中学時代は、お琴や書道に親しみ、高校一年生となった現在は、更に詩吟や舞など、多く日本の伝統芸能にも取り組んでいます。日本が大好きで、明るく、笑顔の可愛いナオミちゃんは1年B組の人気者です。担任として、部活動顧問として、スピーチ大会に推薦します。

けました。それから、どうしてペルーには貧しい子どもたちが多いのだろうと、私は考えるようになりました。物売りのお菓子を買ってあげても、彼らの生活はよくなるまいでしょう。学校へ行っていれば、もっとよい生活ができるはずですが。親が貧しいから、学校へ行けない。学校へ行かないから、よい仕事につけない。これではいつまでたっても、貧困から抜け出すことはできません。貧しいと、自分のことで精いっぱい、人と助け合ったり、思いやったりするのは難しいと思います。だから治安も悪くなります。教育は生きるチャンスだと思いました。

日本では、子どもが学校に行くのは当たり前です。携帯電話を持ちながら町を歩けます。夜外に出ても大丈夫です。水道の水も飲めるし、ご飯も毎日食べられます。停電もありません。日本では当たり前に行えることが、ペルーではできないのです。ペルーへ行ったことがきっかけとなり、これまで自分のことしか考えていなかった私が、他の人を助けたいと思うようになりました。

私は高校を卒業したら、大学に進学して国際関係について勉強しようと思っています。そして、ペルーだけでなく、ほかの国にも行ってみたいです。発展途上の国を訪れ、そこで実際にどんな問題が起きているのか、自分の目で確かめたいです。いつか、世界の貧しい子どもたちのために、役に立つ人になりたい、それが私の夢です。

推薦者のコメント

神奈川県立座間総合高等学校
安達 佳代先生

高校入学当初より、学校行事だけでなく、様々な国際的な活動に積極的に取り組んでいる生徒です。将来は自分の語学力を生かし恵まれない世界の人達のために尽くしたいと考えています。

受賞者一覧(表彰順)

FMやまと賞	星玖藤原愛紗
やまと国際フレンドクラブ(IFC)賞	アリソン カハニン バトゥナサン ガンバドゥラハ
大和日本語支援ボランティアネットワーク賞	ブリアナ バグリーニ アズ ザキー アブリアナ
スポンサー賞	高島 ひとみ 伊藤 グレイス グエン トラン フンリン
大和市教育委員会教育長特別賞	オリベロス デイナ
大和市長特別賞	山本 ナオミ
オーディエンス賞	ラデン パンジ アグン ラクソノ
公益財団法人大和市国際化協会理事長賞	ラデン パンジ アグン ラクソノ

国際化協会のホームページで、当日発表されたすべてのスピーチがご覧いただけます。

<http://www.yamato-kokusai.or.jp/jigyospeech>

特大号!

行ってみたいな

あの店この店

やまと世界料理の 屋台村2017

ナチョス

《アメリカ・メキシコ料理》



タコスマイル

ナチョスは、コーンチップスにひき肉たっぷりのソースとチーズを絡めたスナックです。

藤沢市鵜沼海岸1-17-3
県立湘南海岸公園 サーフビレッジ2F

TEL.0466-47-9990

焼小籠包

《中国・上海料理》



上海Delica

熱々のスープが溢れ出てくる中国の点心、小籠包を揚げ焼きしています。

大和市南林間2-10-17

TEL.046-204-5926

牛すじフォー

《ベトナム料理》



PHO竹

コシのあるPHO竹の米麺は、日本の製麺所で日本米から作られています。

海老名市東柏ケ谷6-24-8

TEL.046-404-8373

ケバブ

《トルコ料理》



インカケバブ

今年出店するケバブ屋さんはいくつかあります。こちらはトルコ風の味付けでお肉はチキンです。

大和市南林間1-19-16

TEL.046-211-8633

焼きビーフン

《バングラデシュ料理》



ラミー

細めのビーフンと野菜を炒めて作る、カレー味のヘルシーなビーフンです。

大和市桜森2-14-17

TEL.046-260-6444

トムヤムクン ラーメン

《タイ料理》



タイレストランリナ

すっぱ辛くて美味しいタイのスープ、トムヤムクンにビーフンが入っています。

大和市西鶴間1-13-4

TEL.046-275-3112

シュラスコ

《ブラジル料理》



ボンチュロス

シュラスコは南米のバーベキュー。味付けはシンプルに塩だけです。

イベントなどで出店中

詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

アヤムバカール

《インドネシア料理》



アジアンゴーヤングリダ

「アヤム=とり肉・バカール=直火焼き」。スパイスに漬け込んだインドネシアのバーベキューチキンのことです。

イベントなどで出店中

詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714

E-mail travel-support.h@gol.com

やまとで 世界の料理を 食べ尽くそう!

日時:2017年10月22日(日) 10:00~15:00
場所:大和駅東側プロムナード
ステージ:ビッグバンド、フラダンス、ヒップホップ、
マリネラ(ペルー)、チャモロダンス(グアム) ほか

ベンガルスパイスシー 牛カルビ

《バングラデシュ料理》



モバイル1

ガラムマサラというミックス
スパイスで味つけた牛肉の
串焼きです。

イベントなどで出店中
詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

フリート

《メキシコ料理》



サポール・ラティーン

フリートは、薄く焼いた小麦粉
生地にチーズや肉、野菜をまいて
食べるメキシコの軽食です。

イベントなどで出店中
詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

トルネードポテト

《パキスタン料理》



ミラクル

カレースパイスで味をつけた
ポテトフライ。ひよこ豆の粉か
らできた衣がついています。

大和市南林間1-5-8-1F
TEL.046-204-9191

ポリビアソーセージ

《ポリビア料理》



タコス&バーガー

絶景で知られるウユニ塩湖が
ある国ポリビア。食文化は隣国
ペルーに似ているそう。

イベントなどで出店中
詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

バインセオ

《ベトナム料理》



バインミー・ハントルシ

バインセオは、ベトナムの粉も
の鉄板料理です。生地は、米粉
とココナッツミルクでできてい
ます。

イベントなどで出店中
詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

スパイス チキンソテー

《スリランカ料理》



シナモンガーデン

祝初出店! お店で人気のスパ
イスチキンソテーは、玉ねぎ、
ピーマン、とり肉のスパイスー
な鉄板焼きです。

大和市林間2-22-19
TEL.046-205-2508

パッタイ

《タイ料理》



タイレストラントムヤムクン

甘めのタレが決め手の焼きビー
フン。パッ(=炒める)タイ(=タイ
王国)の名の通り、タイを代
表する屋台料理です。

相模原市南区相模大野8-14-5
TEL.080-3464-3777

ビーフケバブサンド

《エジプト料理》



ナイル エジプト

今年出店するケバブ屋さん
は2店舗。こちらはエジプト風
の味付けでお肉はビーフ。ハラ
ルです。

イベントなどで出店中
詳しいことは当日
お店の人に聞いてね

地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客! UP

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上! UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホーム
ページ



さん木くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

http://www.sankodo.net

0120・3510・13

地域の団体から

大和地区日中友好協会からのお知らせ「中国家庭料理教室」

日中文化交流の一環として、中国東北地方出身の講師による中国家庭料理の実習講座を開講いたします。日本の食材を使い、中国家庭料理をつくる楽しさを体験してみてください。家でもできるように丁寧に教えていきます。一緒に学びませんか。ぜひお気軽にご参加下さい。

- 日時** 10月26日(木)・11月23日(木) いずれも午前11時から午後2時
- 場所** 大和市生涯学習センター(シリウス6F調理実習室611) 大和駅徒歩3分
- 定員** 先着16名
- メニュー** 10月26日 葱油餅、なす料理、中華風砂肝、白菜漬スープ(予定)
11月23日 水餃子、鶏肉料理、春雨サラダ、酸辣湯スープ(予定)
- 会費** 各回1,000円
- 持ち物** エプロン、三角巾、ふきん
- 申込み** 大和地区日中友好協会 饗庭さん 090-6178-0388
田野井さん 090-9956-4882

黒岩知事との「対話の広場」地域版～県央会場

黒岩知事との
「対話の広場」地域版
県央会場

今年度の「対話の広場」は、笑顔があふれる
明るい超高齢社会を目指して、「スマイルかな
がわ」を年間テーマに掲げます。
数多くの外国籍の方が暮らす県央地域におい
て、多様な価値観や文化を互いに尊重し、すべ
ての人が笑顔で暮らしていくためには何が必
要でしょうか。
黒岩知事と一緒に考えてみませんか。

参加者
募集中
参加費無料

スマイルかながわ
ともに生きる!スマイル多文化共生社会!

事例発表者① ハゲイパトリシア氏 (第4期大和市多文化共生会議 副委員長)
事例発表者② 伊藤 素美氏 (つるま読み書きの部屋 代表)

2017年 11/6 (月)
18:30~20:00 (開場18:00)
大和市文化創造拠点 シリウス やまと芸術文化ホール サブホール
大和地区(大和1-1)
インターネットでは 対話の広場 検索 検索

神奈川県県央地域県政総合センター企画調整課 ☎ 046(224)1111 (内線2119) 参加申込み方法は裏面に→

スマイルかながわ ともに生きる!スマイル多文化共生社会!

数多くの外国籍の方が暮らす県央地域において、多様な価値観や文化を互いに尊重し、すべての人が笑顔で暮らしていくためには何が必要でしょうか。黒岩知事と一緒に考えてみませんか?

大和市の2名の市民が事例発表を行います。

事例発表者① ハゲイパトリシアさん 第4期大和市多文化共生会議 副委員長
事例発表者② 伊藤 素美さん つるま読み書きの部屋 代表

- 日時** 2017年11月6日(月) 午後6時30分~8時
- 場所** 大和市文化創造拠点 シリウス やまと芸術文化ホール サブホール
- 定員** 180名
- 申込み** 事前の申し込みが必要です。(10月30日必着)はがき、FAXの場合

は、以下の必要事項を記載して下さい。

名前(複数名の場合は参加者全員の名前)、電話番号かメールアドレスのいずれかで確実に連絡の取れる方法、住んでいる市区町村、託児の希望と人数、手話通訳希望の有無、(以下の記入は任意)多文化共生社会の実現のために必要だと感じていることや考えていること
電 話 : 046-224-1111 (内線2119)

平日 午前8時30分から午後5時15分

F A X : 046-225-1743

はがき : 〒243-0004 厚木市水引2-3-1

神奈川県県央地域県政総合センター企画調整課

ホームページ : 参加申込フォームに入力して送信

(「対話の広場 県央」で検索して下さい)

定員を超えた場合は抽選(11月1日までに参加できない方のみ通知)、席に余裕がある場合は締切り後も受付。

託児サービスあり。事前の申し込みが必要です。

詳しいお問い合わせは、上記申込先をお願いします。

「対話の広場」地域版は、神奈川県黒岩知事が県内の各地に赴いて県民と直接意見交換を行う場です。

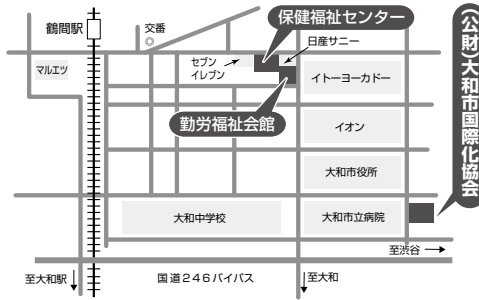
今年度は、笑顔があふれる明るい超高齢社会を目指して、「スマイルかながわ」を年間テーマに開催されています。県央地域での開催が決まり、現在参加者を募集しています。

テーマは「多文化共生」。一言で神奈川県といっても、広い県内のそれぞれの地域に、それぞれ異なる多文化共生の課題があるように感じています。「大和市の多文化共生」を通して「神奈川県の多文化共生」の形を考える良いチャンスです。ぜひ、多くの市民のみなさんの参加をお願いします。

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1、3土曜日
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- …日時
- …場所
- …定員
- …費用
- …対象
- …内容
- …講師
- …資格
- …審査
- …お申し込み方法

日本語教授法ブラッシュアップ講座

外国人の日本語学習をサポートしているボランティア教師のためのスキルアップ講座です。

- 第1回：11月4日(土) 第2回：11月18日(土)
いずれも、午後2時から4時
- 大和市役所第一分庁舎3F会議室
- 内容 今回のテーマは、「中級レベルの学習者に対する指導法」です。会話を教える際に気をつけなければならない日本語の話しことばの特徴や、会話で使われる日本語と話の進め方について学びます。
- にほんごの会企業組合 河島ゆりか先生
- 対象 日本語ボランティア教師どなたでも
- 25名
- 受講料 各回200円
- 申し込み 電話または大和市国際化協会の窓口で先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。

多文化共生防災訓練

大和市では市と国際化協会が協定を締結し、大きな災害が起きた時に外国人市民に対して多言語で情報提供するために災害多言語支援センターを設置することを決めています。この訓練では災害時に外国人を支援するため、災害時に外国人が直面する課題、ボランティアの役割などについて学ぶほか、外国人市民を対象とした訓練も同時に行います。

- 2017年11月19日(日) 午前10時から午後3時(予定)
- 渋谷中学校(大和市下和田49)
- NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会
高橋伸行理事
- 対象 登録ボランティアや外国人を支援している方、関心のある方など
- 申し込み 国際化協会まで事前にお申し込みください。



英語翻訳スキルアップ研修会

国際化協会に登録する英語通訳・翻訳ボランティアを主な対象に、翻訳スキルアップ研修会を開催します。席に余裕がある場合は、一般の方からの申し込みも受け付けます。

- 第1回：2018年1月13日(土) 第2回：1月20日(土)
時間はいずれも、午前10時から正午まで。
(荒天などのために休講する場合は、1月27日(土)に補講を行います。)
- 大和市役所第一分庁舎3階(国際化協会の上階です)
- 内容 市役所が作成する市民向けの案内文書や、個人の公的証明書などを題材に、日本語から英語への翻訳演習を行います。
- MRI語学教育センター
- 30名
- 無料
- 申し込み 国際化協会登録ボランティアからの参加申込を優先します。登録ボランティアの参加申込は、10月2日(月)から先着順に受け付けます。10月31日(火)までに定員に満たない場合は、一般の方の申込受付を11月1日(水)から開始します。電話、Emailまたは直接、国際化協会窓口でお申し込みください。

大和プレスクール「にほんごひろば」

2018年度に大和市の小学校に入学を予定していて、日本語を話したり聞いたりすることが上手にできない子どもたち向けの日本語教室です。

- 2017年11月1日～2018年3月16日まで期間内の水、木、金曜日(全50回)
午前10時から正午(祝日、年末年始は休み)
- 大和市生涯学習センター(シリウス6階)
- 対象 小学校入学前の外国にルーツを持つ子ども約20名
- 教材費等5,000円(全50回分として、分割払い可)
- 申し込み 大和市教育委員会指導室まで直接または電話でお申し込みください。
電話：046-260-5210 FAX：046-263-9832
(スペイン語対応可：090-7834-6653 高橋)
- 主催 大和市教育委員会/NPO法人日本ペルー共生協会(AJAPE)
- 協力 (公財)大和市国際化協会
※この事業は、大和市と特定非営利活動法人日本ペルー共生協会の協働事業です。

2017 国際理解講座

北村浩子さんと読む 「世界文学」



**北村浩子さんのナビゲートで
年末年始に読みたい一冊を見つけましょう！**

話題になった翻訳小説や海外で人気の日本人作家、世界で活躍する移民・亡命作家、そして日本に暮らし国際的なルーツを持つ作家の作品など、「国を越えて移動する本と作家」に注目しておすすめの本を選んでいただきました。
また、物語を通して、「外国語」や「外国で暮らすこと」についても考えてみたいと思います。1回からでもご参加いただけます。

【講師】北村浩子

メーカー勤務後、ラジオの世界へ。FMヨコハマで本紹介の番組「books A to Z」のパーソナリティを14年間務める。紹介した本は2千冊以上。
また、ライターとして「本の雑誌」で連載を担当するほか、「小説すばる」「週刊女性」「ダ・ヴィンチ」などに書評や著者インタビュー、ブックガイドを寄稿。日本語教師の資格も持つ。

《第1回》
12月10日 日
13:30~16:00
世界文学を読んで
みませんか？

日本の作家の小説やエッセイは手に取るけれど、翻訳ものはちょっと…という方、チャレンジしてみたいけど難しそうだなあと思っている方に、世界文学への扉となる作品をご紹介します。
欧米の小説だけでなく、アジアやアフリカへも視線を向けてみたいと思います。



生まれた国、育った国、自分のルーツと異なる場所で作品を発表する作家たちは読者へどんな問いを投げかけているのでしょうか。
気軽に読める作品も実はいっぱいある、豊かでユニークな「世界文学の一端」をご紹介します。

《第2回》
12月17日 日
13:30~16:00
国境を越える
作家たち

【場 所】大和市生涯学習センター (SiRIUS) 610大会議室

【定 員】各40名

【資料代】500円 ※国際化協会賛助会員の方は無料

申し込み
問い合わせ

公益財団法人 大和市国際化協会

〒242-0018 大和市深見西8-6-12 大和市役所第一分庁舎2階
(月曜～金曜 第1・3土曜 8:30～17:00)

TEL: 046-260-5126 FAX: 046-260-5127

Email: pal@yamato-kokusai.or.jp URL: http://www.yamato-kokusai.or.jp/



10月10日から先着順に受け付けます。電話、FAX、Emailまたは窓口へお申し込み下さい。